

甲府商業高校 図書室 令和5年1月 NO.6

2023年がスタートしました。今年の目標は決まりましたか? コロナは依然として脅威的な存在ではありますが、気持ちも新たに それぞれの目標に向かって、さあ 一歩を踏み出しましょう! 図書室では、みなさんが読書の楽しさを知るきっかけとなるような 本をたくさん紹介していきたいと思っています。



図書室からのお願い





◎ 3年生のみなさんへ3年生は、2月から自由登校になります。図書の返却をしてない人は、1月25日(水)までに返却してください。返却されない場合は、紛失扱いとし、その手続きをしなければなりません。必ず期日までに返却をお願いします。

◎ 先生方へ年度末に向かいますので、図書の返却を生徒に促してください。ご協力をお願い致します。

プチ古本市

昨年12月21日(水)から12月23日(金)まで図書室で「プチ古本市」を開催し、盛況に終えることができました。

ご協力ありがとうございました。



年間学年別多読者ベスト1位

(2022年4月~2023年1月まで)

3-7 二宮 さん

2-7 藤枝 さん

1-7 志村 さん

雜誌頒布会

(2/15日(水)~2/17日(金) 昼休み・放課後)

1年前の雑誌を配布します。

教室に放置せず、必ず持ち帰ってください!

新着本紹介

『商業高校から一橋大学に入って公認会計士試験に合格した話』

商業高校が有利ってホント?! **ハイ、本当です。**

藤本拓也/著 とりい書房

書籍紹介:ごく普通の商業高校男子生徒だった著者が、一橋大学へ進学し、文系の国家試験の最高峰ともいわれる公認会計士試験に合格するまでの道のりを振り返る。毎年、多くの商業高校生が一般入試を受けることなく一流大学へ進学している。今、商業高校に在籍している君たちへ、次は君たちの番!一流大学から難関国家資格の合格まで、**君たちには相当なメリットがあることを自覚したほうがいい**!

『成熟スイッチ』

林真理子/著講談社

書籍紹介:人は年をとると外見だけではなく内面も変化していく。よい方に変わっていくと、精神や人間性が成熟へと向かう。日大理事長就任、「老い」との近づき方など、自身の成熟の現在地を明かしながら、「人間関係の心得」「世間を渡る作法」ほか四つの成熟のテーマについて語る。

『ウクライナにいたら戦争が始まった』

松岡圭祐/著 KADOKAWA

書籍紹介: 単身赴任中の父と過ごすため、母・妹とともにウクライナに来た高校生の琉唯。ロシアによる侵攻が近いとのニュースが流れ、一家は自宅から出ることができないまま、町は一瞬にして戦場と化し…。 凄絶な体験を描く実録的小説。

『変な絵』 雨穴/著 双葉社 『夜空はいつでも最高密度の青色だ』 最果タヒ/著 リトル・モア『パカと無知』 橘玲/著 新潮社 『紛争地のポートレート』 白川優子/著 集英社クリエイティブ『文にあたる』 牟田都子/著 亜紀書房 『聞く技術聞いてもらう技術』 東畑開人/著 筑摩書房『栞と嘘の季節』 米澤穂信/著 集英社 『今夜、ぬか漬けスナックで』 古矢永塔子/著 小学館『君のクイズ』 小川哲/著 朝日新聞出版 『川のほとりに立つ者は』 寺地はるな/著 双葉社『キリンに雷が落ちてどうする少し考える日々』 品田遊/著 朝日新聞出版

『目の見えない白鳥さんとアートを見にいく』 川内有緒/著 インターナショナル集英社 など…

※ここで紹介しているものは、ほんの一部です! 図書室に見に来てください。